

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム(大阪 HITEC)



「大阪府クールスポット100選・クールロード100選」 体感説明会を開催しました！

▽開催日：平成28年8月30日（火）

▽場 所：大阪市中央公会堂前及び中之島公園等

8月30日（火）に、大阪市中央公会堂前や中之島公園等で、「大阪府クールスポット100選・クールロード100選」※体感説明会を開催しました。当日は、100選に選定されているクールスポット、クールロードの一部を巡り、その地点が「なぜ涼しく感じるのか」の検証や暑熱環境の専門家による解説、打ち水の実施、ヒートアイランド対策製品の効果確認などを行いました。

※大阪HITECでは、平成24年度に「クールスポット100選」を企画し、涼しい場所の認知度を高める活動を行ってまいりました。多くの方にポケットパークやテラスから大規模公園まで様々な場所をご推薦いただき、府内で119か所のクールスポットを選定しました。また、平成27年度はスポット的な場所ではなく、ある程度の広がりをもって繋がる「涼しい道（クールロード）」に関する情報を募集して、府内で121か所を選定しました。



「大阪府クールスポット100選・クールロード100選」体感説明会風景

“大阪府クールスポット100選・クールロード100選”

大阪クールスポット

検索



ホームページはこちら

<http://www.coolspot-osaka.jp/>

ヒートアイランド対策技術認証制度の対象技術を追加しました

大阪HITECでは、ヒートアイランド現象の緩和に効果の大きい対策の技術認証を行うことにより、高い技術をもつ企業等を支援するとともに対象技術を選定する利用者に性能の目安を提供しています。

認証した技術には「認証書」、「ロゴマーク」を交付するとともに、本コンソーシアムホームページにおいて認証製品の概要を掲載しています。

この度、対象技術として「**再帰性高日射反射率外壁材**」及び「**再帰性高日射反射率窓フィルム**」*を追加するとともに、「**屋根用高日射反射率塗料**」等の評価項目として「**暴露3年後の日射反射率保持率**」を追加しました。(平成28年12月)



※建物壁面や窓面に適用すると、入射日射の多くが天空に反射され、反射日射による歩行者への熱ストレスを増加させずにヒートアイランド効果を発揮する再帰性高日射反射率技術。

⇒ 認証制度の概要はこちらから：<http://www.osakahitec.com/cert/gaiyo.pdf>

ヒートアイランド対策技術セミナーを開催しました

▽日時 平成28年6月22日(水) 15:20~16:50

▽会場 大阪府立環境農林水産総合研究所

コンソーシアム設立から10年を経過した大阪HITECの取り組みについて、紹介しました。



大阪府涼しい道(クールロード)
100選について

鍋島美奈子(大阪市立大学大学院 准教授)



ヒートアイランド対策技術認証制度について

野邑奉弘(大阪市立大学 名誉教授)



ヒートアイランド対策技術普及促進の
課題と方向性

水野 稔(大阪大学 名誉教授)

▽日時 平成29年1月19日(木) 14:00~15:50

▽会場 ビジネスプラザおおさか

ヒートアイランド対策技術認証制度の対象技術として新たに追加した「再帰性高日射反射率外壁材」等や、日射反射率保持率の試験方法などについて紹介しました。



再帰性反射材の最新技術と動向

木下 進一(大阪府立大学大学院 准教授)



高日射反射率塗料等の日射反射率保持率と汚染促進試験

三木 勝夫(三木コーティング・デザイン事務所 所長)

⇒ セミナーの配付資料はこちらから：<http://www.osakahitec.com/seminar/index.html>

「ECO緑日2016」に出展しました！

▽開催日：平成28年9月19日（月）

▽場 所：花博記念公園鶴見緑地中央噴水広場（大阪市鶴見区）

9月19日（月）に、花博記念公園鶴見緑地中央噴水広場で開催された「ECO緑日2016」（大阪市主催）に出展し、ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの概要紹介ならびに、「大阪府クールロード100選・クールスポット100選」のパネルを設置し、活動についてPRしました。

ECO緑日とは、昔ながらの“緑日”を再現し、都市に生活する人々が人と自然、生活と環境の関わりについて体験を通して知識を深め、行動に結びつけることを目的としたイベントで、当日も晴天に恵まれ、家族連れなどで賑わいました。

大阪HITECの取り組みを通じて、ヒートアイランド対策への関心が高まるきっかけとなることを期待しています。

理事会・総会を開催



昨年度活動報告・今年度の活動方針を検討

▽日時 平成28年6月22日（水）13:30～15:10

▽場所 大阪府立環境農林水産総合研究所

「大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム」の理事会・総会を開催し、平成27年度事業報告・収支決算、平成28年度事業計画（案）・収支予算（案）、会則の改正及び理事の再任・選任について、承認されました。

大阪 HITEC 執行部を一新しました

コンソーシアム設立10年を経過したことを契機として、執行部の一新を図りました。

大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム 組織体制

理事長	森山 正和（摂南大学 特任教授）
副理事長	吉田 篤正（大阪府立大学大学院 教授）
理事	西村 伸也（大阪市立大学大学院 教授）
	増田 昇（大阪府立大学大学院 教授）
	河上 豊（関西電力株式会社 環境室長）
	鷺尾 修司（大阪ガス株式会社 CSR・環境部長）
顧問	水野 稔（大阪大学 名誉教授）
	野邑 奉弘（大阪市立大学 名誉教授）

部 会	ヒートアイランド対策技術検討部会	[部会長] 吉田 篤正（大阪府立大学大学院 教授）
	素材関連WG	[主査] 竹林 英樹（神戸大学大学院 准教授）
	熱有効活用・人工排熱低減WG	[主査] 西村 伸也（大阪市立大学大学院 教授）
	クールスポット創造技術手法WG	[主査] 山田 宏之（大阪府立大学大学院 教授）
	熱負荷評価手法WG	[主査] 芝池 英樹（京都工芸繊維大学 准教授）
	ヒートアイランドに配慮した 都市デザイン検討部会	[部会長] 増田 昇（大阪府立大学大学院 教授）
	都市デザインWG	[主査] 増田 昇（大阪府立大学大学院 教授）

大阪HITEC運営委員会・各WGの会議開催概要

平成28年度
第1回企画運営委員会

▽開催日 平成28年6月9日(木)
▽会場 大阪府立環境農林水産総合研究所

企画運営委員会では、理事、各ワーキンググループ主査、大阪府、大阪市が参加し、業務執行体制の見直しや、各WGの事業計画、理事会及び総会に係る議案書等について検討しました。

平成28年度
第1回認証制度運営委員会

▽開催日 平成28年10月7日(金)
▽会場 大阪歴史博物館

「ヒートアイランド対策技術認証制度」への対象技術の追加等について検討しました。

第34回素材関連WG

▽開催日 平成28年7月7日(木)
▽会場 大阪府立環境農林水産総合研究所

今年度の事業計画について検討を行うとともに、高日射反射材料の汚染促進試験方法 SWG 及び再帰性反射材料 SWG から進捗状況の報告がなされました。

第19回クールスポット創造技術手法WG

▽開催日 平成28年10月11日(火)
▽会場 あべのルシアス

今年度の事業計画やWGの方向性について検討しました。

第25回都市デザインWG

▽開催日 平成28年4月20日(水)
▽会場 大阪府立環境農林水産総合研究所

今年度の事業計画や「大阪府クールスポット100選・クールロード100選」体感説明会について検討しました。

第26回都市デザインWG

▽開催日 平成28年6月27日(月)
▽会場 大阪府立環境農林水産総合研究所

「大阪府クールスポット100選・クールロード100選」体感説明会の参加者募集方法について検討しました。

第27回都市デザインWG

▽開催日 平成28年8月3日(水)
▽会場 大阪府立環境農林水産総合研究所

「大阪府クールスポット100選・クールロード100選」体感説明会のプログラムについて検討しました。

今年度のワーキンググループ事業

昨年度に引き続き、各部会ワーキンググループでは、それぞれのテーマについて検討を実施しています。

素材関連ワーキンググループ

(反射、遮熱、断熱等に資する素材の研究、具体的活用の提案)

- ① 反射材料の汚染促進試験方法SWGにおいて、米国で制定された汚染促進試験方法 ASTM D7897-15 を参考に、日本の公的機関、塗料メーカーが受け入れ可能な汚染促進試験方法の基準化をしていく。
- ② 再帰性反射材料SWGにおいて、認証の対象の可能性のある材料・技術について情報を収集し、再帰性反射の定義、評価項目ならびに評価手法について検討する。そのなかで人体影響評価の必要性ならびに評価基準について併せて議論し、コンソーシアム全体への提案に向けてSWGとしての考えをまとめる。
- ③ 新たな素材の認証制度への反映の可能性について、引き続き検討する。
- ④ 各素材の熱負荷削減に係る実証試験については、熱負荷評価手法WG と連携しながら、検討を進めていく。
- ⑤ 今後とも、様々な機会を捉えて、情報提供していく。

熱有効活用・人工排熱低減 ワーキンググループ

(潜熱化、排熱利用、省エネ・新エネ・代エネ技術 (ESCO 含む) による対策手法の調査、活用)

[人工排熱の大気熱負荷削減効果の推奨制度の確立]

- ① 空冷空調機用排熱低減対策装置による人工排熱削減効果および熱汚染対策効果の推奨方法
 - ・ 空冷空調機用排熱低減対策装置の調査
 - ・ 冷媒循環量の簡易予測による個別分散型空調機の性能評価と排熱予測
 - ・ 蒸発量データ等による大気熱負荷削減効果の検証方法の確立

- ・ 排気温度調査等による熱汚染対策効果の検証方法の確立
- ・ 推奨範囲 (推奨対象、期間など) の設定
- ・ ピーク電力削減効果・温暖化対策効果の関連性調査

- ② 人工排熱を大気以外の媒体に処理する技術を対象にした大気熱負荷削減効果の推奨方法
 - ・ 人工排熱を大気以外の媒体に処理する技術の調査
 - ・ 河川水・海水利用、地中熱利用に関する経験を有する新たなWGメンバーの選定
 - ・ 運用データを用いた大気熱負荷削減量の効果の検証方法の確立
 - ・ ピーク電力削減効果・温暖化対策効果など関連した効果の評価
 - ・ 人工排熱を大気以外の媒体に処理する技術の設計段階における効果推奨方法の検討

- ③ 大気の直接冷却技術の調査
 - ・ 空気熱源ヒートポンプ、冷却塔、水噴霧など大気を直接冷却する技術の調査
 - ・ ピーク電力削減効果・温暖化対策効果など関連した効果の評価

- ④ 推奨制度の確立
 - ・ 設計段階と運用段階での制度確立

[熱有効活用・人工排熱低減に関する情報収集・調査、検討、及び広報]

学術研究者や会員を講師にした関連技術等の話題提供や情報交換を行うとともに、情報収集、文献調査を実施する。

クールスポット創造技術手法 ワーキンググループ

(緑化、水活用(噴霧、散水)等技術手法の研究、
具体的活用の提案)

- ①緑化技術に関する評価項目・評価手法の検討
 - ・緑化技術に関する評価シートの項目および評価手法の検討を行う。
- ②緑化技術に関する評価試験の検討
 - ・平成26年度に作成した簡易測定装置の改良及び、装置の測定精度を高める方法の検討を行う。また、測定依頼があった場合、実際の屋上等の施工現場で実測を行い、屋外現場での装置の測定性能評価を行う。
- ③緑化技術に関する評価シートの作成
 - ・現在ある緑化技術に関する評価シートの評価項目を基本として、①～②を踏まえて充実させる。
- ④水を活用した技術に関する評価シートの検討
 - ・水を活用したヒートアイランド対策技術に関する、評価シートの項目や評価手法等の検討を行う。
- ⑤新たな提案の検討
 - ・緑化が困難な場所等での保水性資材を用いた温度低減効果など新たな提案の検討を行う。また、アンケートにより簡易測定装置の運用やWG活動の展開を調査する。
- ⑥情報交換の推進
 - ・随時、緑化技術をはじめとした様々なクールスポット創造技術に関する情報交換、及び他のWGとの情報交換を行う。

熱負荷評価手法ワーキンググループ

(熱負荷削減評価手法の検討)

認証制度の対象となる技術の追加が検討される際には、関係のWGと連携して、当該技術に関するシミュレーション手法についての検討を行う。

都市デザインワーキンググループ

(地域における「あるべき都市デザイン」の検討・
提言)

- ①クールスポット100選・クールロード100選や過去のアイデアコンペの成果を用いたワークショップを実施し、新たな対策技術、特に適応策への貢献や新たなライフスタイルのあり方等を提言としてとりまとめる。
- ②大阪府クールスポット100選(平成24年夏実施)及び大阪府クールロード100選(平成27年度夏実施)のホームページを継続する。
- ③クールスポット・クールロードの現地研修会を実施し、その際、暑熱環境を評価する。
- ④アイデアコンペのあり方を見直す。

コンソーシアムの会員区分・年会費

- 法人会員（議決権1口につき5票）50,000円/1口
- 個人会員（議決権1口につき1票）
 - ・企業に勤務する個人 10,000円/1口
 - ・大学、試験研究機関、行政機関、公的機関に勤務する個人 5,000円/1口
 - ・学生 1,000円/1口

※ 年会費は、当該年度の4月末までにお納めいただくことといたしておりますが、年度途中の新規ご入会はその都度対応いたします。

また、年会費納付のご案内の際に、毎年、会員のご連絡先（担当者）について、確認をさせていただいておりますので、ご協力のほど、あわせてお願いいたします。

※大阪HITECは随時会員募集を行っています。

詳細な入会案内については、大阪HITECのホームページをご覧ください。

◆◆◆大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムの構成メンバー◆◆◆

【法人】アーキヤマ株式会社、株式会社いけうち、株式会社エスシーエイエヌ、大阪ガス株式会社、株式会社大林組、株式会社カネカ、関西電力株式会社、ケイミュー株式会社、住ベシト防水株式会社、太平洋プレコン工業株式会社、太陽エコブロック株式会社、ダイキン工業株式会社、株式会社大高商会、大日化成株式会社、大日本塗料株式会社、株式会社竹中工務店、デクセリアルズ株式会社、東洋紡STC株式会社、日鉄住金鋼板株式会社、一般社団法人日本塗料工業会、株式会社フッコー、株式会社ベルテック、ユニソングループ（株式会社ユニソン、株式会社ユニソン西日本）（以上23法人）

【個人】17名

【大学】大阪大学、大阪府立大学、大阪市立大学、神戸大学、京都工芸繊維大学、関西大学、摂南大学、大阪工業大学

※上記大学の学識経験者が参画しています。

【行政】大阪府、大阪市

（平成29年2月14日現在）

発行/大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム事務局

〒583-0862 羽曳野市尺度442

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所

TEL:072(979)7062 FAX:072(956)9790 URL:<http://www.osakahitec.com>